

戸隠地区住民自治協議会広報

こみゆにていー戸隠

平成24年度 第14号 発行者：戸隠地区住民自治協議会長 和田 文雄
【平成24年12月発行】

各委員会 活動報告

青少年育成委員会

第2回 子どもフェスティバル 開催

今年で2回目となる子どもフェスティバルが10月28日（日）、中央区地籍と戸隠農村環境改善センターを中心に開催されました。自薦の小中学生8人が実行委員となり、自分たちだけで企画や準備をしました。大人は集会所の確保や送迎のサポートぐらいでした。

前日準備を土曜日に行い、当日は小雨模様でしたが、外でのフィールドワーク（ウォークラリー）も無事できました。

戸隠を知ることを重点におき、協力し合い知恵を出し合いチェックポイントで問題を解いて廻りました。フィールドワークの合間に、子どもフェスティバル専用の資源回収引換券を使い特設の店でポップコーンや綿あめと交換していました。家族と語りながらおにぎりなどの昼食を取りましたが、もう少し時間があつたら良かったのかなとも思いました。午後には戸隠農村環境センター2階で大人と一緒にレクリエーションを楽しみ充実した一日で、親子で帰る背中には家族のぬくもりが感じられました。（寄稿）



チェックポイントで問題に立ち向う子どもたち

平成24年度 青少年健全育成推進大会行わる



11月4日、住民大会の一環として、青少年育成委員会の主催で3年目の青少年健全育成推進大会が開催されました。

今回も、小・中学校の発表と講演会を行いました。小中学校の発表は、映像を使ってとても分かりやすくまとめられていました。

講演は、信州大学教育学部教授の伏木久始先生に「学校が望む家庭教育と家庭が望む学校教育」という演題で話していただきました。いろいろな調査資料を基に、現代の若者の特長や今の学校生活の様子など親しみやすい内容でした。そして、次のような声が聞こえてきました。

「学校と家庭のそれぞれの立場からの様子が良くわかった。」「とても良かったが、一番聞いてほしい親世代の方が少なくて残念だった。」（寄稿）



小学生の発表の様子

全委員会

11/4 住民大会 開催されました

「寄っとくらす」をキャッチフレーズに戸隠農村環境改善センターで開催されました。会場の様子を写真などでお伝えします。

恒例の舞台発表



10グループによる11演目が熟演されました。

作品展示



6グループによる自信作が所狭しと並びました。

そば打ち体験



子ども達が3人一組で体験しました。

福祉バザー

たくさんのバザー品を提供していただきました。

売上金額

73,733円でした。

ご協力ありがとうございます。

ございました。

訪問入浴サービス実演



自宅に浴槽を持ち込んでスタッフが入浴の介助を行います。

生活ゴミのリサイクル



生ごみ堆肥化の講習と生活ゴミの分別リサイクルを説明しています。

安全・安心部会

平成24年度 とがくし地区防災の日 (11/20)

地震体験車による大地震の体験、炊出し訓練、屋外拡声機と携帯無線機の運用訓練を行いました。

大地震の揺れを疑似体験

戸隠地区4ヶ所で約150人が、地震体験車による地震の揺れを体験しました。大人たちと共に戸隠運動場では中学生が、宝光社二番館では長野吉田高校戸隠分校の生徒も参加し揺れの貴重な体験をしました。参加者は疑似体験ですが揺れの大きさに驚愕し、地域の防災を考える上での一助になったことと思います。



ふるさとセンターでの地震疑似体験

炊き出し訓練

長野市赤十字奉仕団戸隠支部の皆さんによる炊き出し訓練が行われました。



食材の袋詰め作業

炊出しは指導員の説明を受け、手際よくあっという間にできていった。今回の訓練は、ハイゼックスという強化プラスチックの細長い袋を使う方法。

袋に無洗米半合と水(だし汁)を入れて空気を抜き、口をゴムできつくしばる。なべで30~40分煮ると出来上がり。この方法の利点は、おにぎりを作る手間が省けること、袋から押し出すように食べることができるので衛生的な食事が可能、残ったごはんを持帰れるなどがあります。

各区の現状を紹介しています。今回は「その4」です。

中社区

中社区は、中社と越水組で構成されています。戸隠地区の最北に位置し標高はおよそ1100m、夏はすごしやすいが冬は雪も多くとても寒いところです。

越水組は戸隠スキー場越水ゲレンデの下に広がるなだらかなところにあり、山小屋やホテルなど観光に携わる人が多く、中社区は戸隠神社中社を中心に、その下のやや傾斜地にあり、お蕎麦屋さんや旅館民宿などが多くあります。特に戸隠神社は、近年パワースポットとして大勢の参拝者が訪れております。

スキーシーズンを前に「雪ごい祭」を毎年行っており、神社で神事を行い、越水ゲレンデに“お水まき”をして降雪を願います。今年は、朝から雪が降り風も強い中でのお祭りでした。神さまも毎年のことなのでわかっていたのでしょうか。

雪は当地区にとって生活に欠かせないものなのです。しかし一方では通勤通学の道路除雪や各戸の屋根の雪下ろしなど危険で苦勞の多い時期ですが、みんなで力を合わせて冬を乗り越えたいと思います。(寄稿)



中社区の活動拠点である中社公会堂

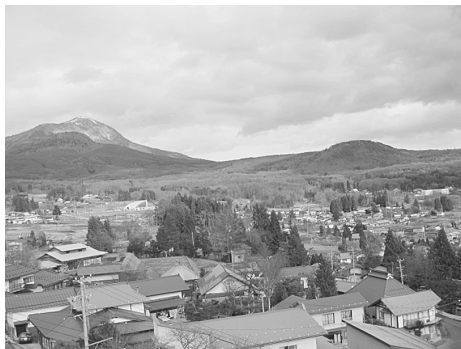
東部区

東部区は、長野方面より県道戸隠線及びバードライン経由で向かった時、戸隠の入口に位置します。約140戸（和沢・中村・中耕・銚子口）ありますが、飯縄山・戸隠連峰・荒倉山等が一望できる景色の良さからか県外からの移り住む人もたくさんおります。この風光明媚なイメージを壊さないよう区では、幹線道路及び区内市道の草刈り・ゴミ拾い・支障木の枝落としなどを強化し、きれいな地域環境づくりを進めていきたいと考えております。

他の区と同様に当区でも少子高齢化が進んでおりますが、元気な年輩の方も多く老人クラブの活動は活発で、区の事業にも協力してもらい大きな力になっております。

また、子ども達が毎年楽しみにしている子供釣り大会等の地域公民館活動を通し、子ども達にとっても楽しくて住みよい地域づくりを進めていきたいと思ひます。

(寄稿)



飯縄山をバックに東部区の家並み

南部区

南部区は、戸隠支所や戸隠中学校の南に位置し、横道・上楡木・南原・東原・猿丸の五つの集落で構成され、現在87世帯です。南部大橋から地蔵原・南原へと抜けていくと、戸隠連峰や遠くの山々が一望でき、蕎麦の花が咲く時期はカメラマン達の密かな撮影スポットになってきています。

しかし、少子高齢化は著しく、87世帯の内、20世帯程がひとり暮らしのご高齢者です。80歳以上の方も大勢いらっしゃいますが、その多くの方々が農地を守り、地区の役を務め、地域を支えています。

一方、地区内で一番世帯数の多い上楡木でさえ20歳以下が一人もいないという実態に、今後の区の運営のあり方を考えざるを得ない状況が目の前に迫ってきています。区の運営は区長・副区長（会計兼務）組長・各種団体長・そして前年度の役員が相談役・監査役等を務め、役員になると2年は区の運営に関わっていくことになるということです。五つの集落の中で横道・上楡木・猿丸に獅子頭がありますが、猿丸では世帯数の減少により獅子舞ができなくなり、ほかの2地区も後継者不足は深刻な問題とのことです。

これからは今以上に農地のみならず、あらゆる土地の維持管理、荒廃地対策が大きな問題となっていくと思う。若者が生活出来るだけの収入を確保できる雇用の場をつくり、楽しみを見つけ魅力を感じることが出来る戸隠にしていくことが、現在、住民自治協議会が取り組むべき課題だと思う、との区長さんの言葉に改めて厳しい現実を突きつけられた思いがしました。



南部大橋と古宮神社を囲む横道地籍の家並み

お知らせ

平成24年度【人権を考える集い】

開催日	平成25年1月27日（日）午後1時30分～
場所	長野市立戸隠公民館
講師	丸田藤子さん（21世紀ボランティア研究所代表）
講演	「いま わたしにできること わたしたちにできること」 ～ 被災地に学ぶ“人権”～

本年度も、小中学生の作文発表や標語の展示があります。無料の送迎バスを運行しますので、寒い時期ではありますが、大勢の皆さんのご参加をお待ちしております。詳細については、各戸に配布されるチラシをご覧ください。

平成24年度 募金結果のお知らせ

皆さまの善意によりたくさんの募金ことができました。ありがとうございました。

赤い羽根共同募金

748,498円

結核・肺がん予防募金

51,794円

～ 編集後記 ～

今年も、もう終わろうとしています。
今年も無事、平穏な一年を過ごせた自分があるのは、周りのみなさんのおかげです。この近年、一年が段々と短くなるのは歳のせい？一日も夜も長く感じますけどね。朝、目覚めるのが早いですか？（自分はそうです）
朝5時頃、新聞を取りに行くのに外はまだ真っ暗、熊出没注意！です。とりとめの無い記事はやめます。この一年、各地区のみなさんには大変お世話になり、ありがとうございました。どうぞ、良いお年をお迎えください。（T.T）

戸隠地区住民自治協議会事務局

〒381-4102 長野市戸隠豊岡1554

Tel 254-2490 Fax 254-2327

e-mail togakusi-juumin@tgk.janis.or.jp

お問合せ先